

TAO 会員の皆さまへ

世間はコロナウイルス禍で大変なことになっています。

TAO では 1 月 26 日の例会で、その前日中国から帰国したばかりの邵輝先生が、すべての日本国内のメディアより先に中国国内での状況や治療方法について情報提供してくれました。

その際、診断には胸部 CT が有効であることの報告を受けましたが、日本国内でやっと今頃になり PCR より診断能力が高いことが報告され始めました。また、舌診では湿熱のほか、早期から瘀血が認められると報告受けました。軽症者には麻杏苳甘湯加減、中症者には麻杏甘石湯加減、重症者には竹葉石膏湯加減（白虎加人参湯と清暑益氣湯で代用）などの情報でした。

この状況下で皆さまも不安な毎日をお過ごしと思います。

特に歯科医療では毎日多数の患者の口の中を診て、処置したり、切削器具を使います。そんな環境では診療室中ミストだらけで、いくら口腔外バキュームがあったとしても、術者やスタッフは患者の唾液、血液に曝露しまくりです。歯科医療従事者からまだ感染報告がないのが不思議なくらいです（歯科衛生士から感染者が出たとの裏報告があります）。

現在、TAO は 3 月 15 日の例会を予定通り開催の方向で進めています。

その最大の根拠

邵輝先生、小林先生に予定している講義内容とは別に、コロナウイルスに対して予防と治療の観点から東洋医学的アプローチについて講義して頂きます。

政府は 2 月 26 日付で向こう 2 週間の期限でイベント中止を要望しましたが、3 月 15 日は 2 週間を明けています。

当日も感染対策を万全に準備していきます。

発熱、咳の方はその程度にかかわらず参加をご遠慮下さい。

医療人の判断として感染者と接触した可能性がある方の参加はご遠慮下さい。

咳エチケットを徹底して下さい（マスクは各自ご用意下さい）。

入場に際し、手洗い、手指消毒にご協力下さい。

座席は 3 人掛けの両端に 2 人おかけ下さい（机、椅子も間引いて配置します）。

定期的に換気を行います。

参加の最終判断は皆さまご自身の判断でお願いします。

今回試験的に講義の Web 配信を予定しています。

はじめてのことですので成功するかどうかは？ですが Try してみます。

Web 配信は Face book の TAO 東洋医学研究会のグループページで行う予定です。

Face book にまだ登録していない方は事前に登録をお願いします。

暗いニュースばかりですが、明るい話題を一つ

TAO 東洋医学研究会の例会、入門が日本歯科東洋医学会の認定研修として認められました。

学会の認定医、専門医がより取得しやすくなります。

認定医取得には学会会員歴が必要になります。会員でないと認定研修のポイントが取得できません。まず、日本歯科東洋医学会に入会して、学会認定医を目指して下さい。昨今のコンプライアンスを盾に取る薬剤購入に関し、認定医取得はプラスになります。

コロナウイルス感染に関しては、今後の日本政府の方針や、状況の変化に柔軟に対応していきたいと考えております。

例会、入門セミナー開催に向け、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和2年3月5日(木)

TAO 東洋医学研究会 執行部